

# ウェルウォーク通信

## ～ウェルウォークの準備作業効率化の取り組み～

日頃はウェルウォークをご愛顧いただきまして誠にありがとうございます。今回は、みどりヶ丘病院様が取り組まれている、ウェルウォークの準備作業の効率化の取り組みについてご紹介致します。

### みどりヶ丘病院（大阪府高槻市）

#### 【基本情報】

病床数 一般病棟 182床 地域包括 41床  
回復期 106床  
脳血管疾患割合 約60%（回復期）  
療法士数 108名（PT:74,OT:21,ST:13）



### 当院のウェルウォーク活用状況と運用上の課題

当院はウェルウォーク（以下、WW）対象者が3フロアに分かれ、各フロアにWW操作者を2～3人配置しています。WWを使う患者は平均して1日に5～6人ほどで、WW操作者1人あたりでは1日に1～2人の患者を担当しています。患者1人あたりにかかるロボット脚の準備、環境調整時間は約10分程度であるため、WW操作者は診療以外の時間が毎日10～20分程度延長し、1日の実務時間が増加して業務を圧迫する点が課題となっておりました。

WWの活用が業務の負担にならないよう、操作者の1人あたりのロボット脚・環境調整時間の短縮に向け、脚調整表の管理、ロボット脚調整環境の整備、備品の整理方法の統一などを意識して業務改善に取り組んで対策を行っています。

### 取り組み1 脚調整表の管理方法の見直し

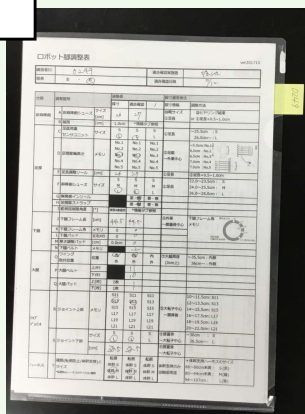
課題) 脚調整表を1つのファイルに集約しているが、担当患者を探すのに時間がかかっていた。

対策1) 脚調整表を集約しているクリアファイルに、患者ID番号を記載した付箋を貼付した。付箋の配色はフロアごとに統一した（写真①）。

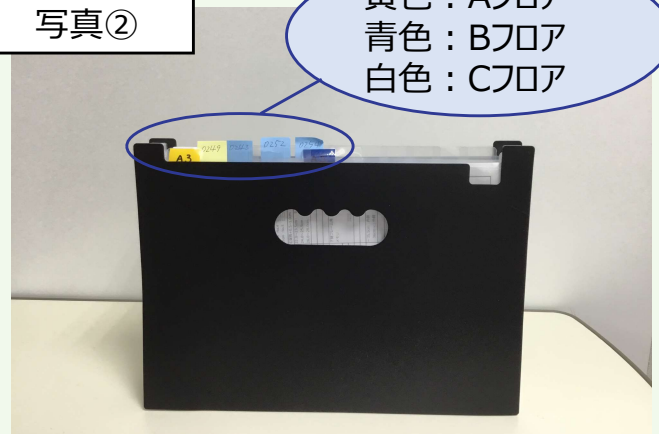
対策2) 脚調整表を管理する場所を蛇腹ファイル、1か所に集約した。蛇腹ファイルの側面にフロアごとに統一された配色のテープを貼った（写真②）。

変化) 脚調整表を探す時間が数分短縮できた。

写真①



写真②



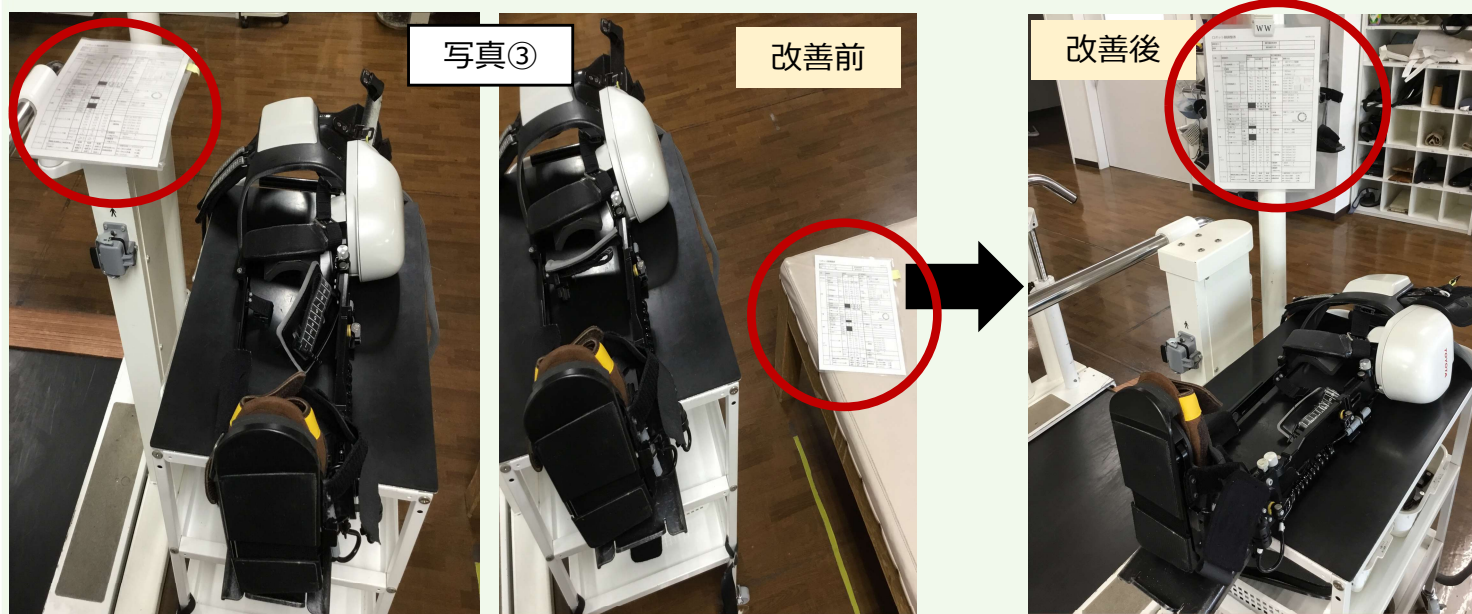
黄色：Aフロア  
青色：Bフロア  
白色：Cフロア

## 取り組み2 ロボット脚調整時の脚調整表置き場の統一

課題) 当院ではロボット脚調整時の調整ミス削減のため、必ず脚調整表を確認しながら実施しているが、周囲の環境上、ロボット脚を調整しながら常時目視可能な脚調整表の配置が難しかった。場所が悪いとロボット脚と脚調整表を交互に確認する必要があり、調整時間が延長していた。

対策) 脚調整表をマグネット式クリップで挟み、wwの支柱にマグネットで固着して、目線の移動が最小限になる位置に配置して統一した（写真③）

変化) 目線の移動が少なく作業しやすいためミスが減った。さらに準備時間、調整時間も短縮できた。



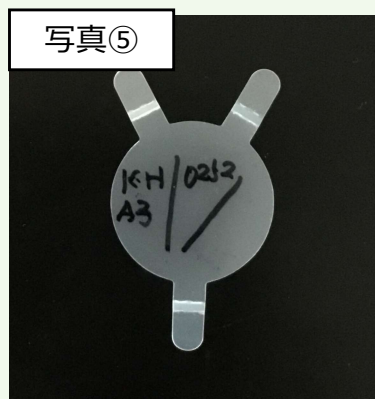
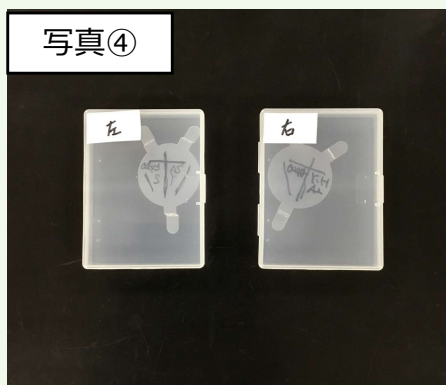
## 取り組み3 位置再現フィルムの管理方法、記載方法の見直し

課題) 位置再現フィルム（以下、フィルム）を1つのケースで管理し、各フィルムにID番号とイニシャルを記載していたが、フィルム数が多いため、対象者のフィルムを探すのに時間がかっていた。

対策1) フィルムの管理方法を2つのケース（ロボット脚実施側の右、左）に変更した（写真④）。

対策2) フィルムの記載にフロア名も追記した（写真⑤）。

変化) フィルム使用のミスが減り、準備時間が短縮できた。



### 執筆者より

上記取り組みにより、ww操作者のロボット脚調整時間が短縮され、実務時間の短縮に繋がっています。また、調整時間を短縮することでww操作者の心理的にも余裕ができたと感じています。